

ぐんま緑の県民基金事業

～ みんなの森をみんなで守ろう ～

平成27年度

実施報告書 (案)



平成28年〇月
群馬県

も く じ

- はじめに ……1
- 目指すべき目標 ……1
- 平成27年度ぐんま緑の県民基金事業の総括 ……2
- 平成27年度ぐんま緑の県民基金事業の実施概要 ……3
- I 水源地域等の森林整備 ……4
- II 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進 ……9
- III 市町村提案型事業 ……11
- IV 制度運営 ……15
- V ぐんま緑の県民税評価検証委員名簿 ……18
- VI 資料集(別冊)

○ はじめに

群馬県は、県土の3分の2を森林が占めています。

豊かな水を育み、また災害を防止するなど、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす森林は、県民共有の財産です。

県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、県民税均等割の超過課税として「ぐんま緑の県民税」を平成26年4月から導入し、様々な施策に取り組んでいます。

○ 目指すべき目標

木材価格の低迷や山村地域の過疎化・高齢化などにより放置され、荒廃が進む森林の整備を進めるため、また、森林を取り巻く新たな課題に対応するため、次の目標に向けて施策を進めます。

● 豊かな水を育み、災害に強い森林づくり

● 里山・平地林等の森林環境を改善し、
安心・安全な生活環境を創造

○ 期間

●事業期間 5年間(平成26年度から)

●課税期間 5年間(個人平成26年度課税(平成25年所得分から))

(法人平成26年4月1日以降に終了する事業年度分から)

平成27年度ぐんま緑の県民基金事業 総括

ぐんま緑の県民税評価検証委員会は、税の使途の透明性・公平性を確保し、事業内容の検討、実績評価・効果検証を行うため、平成26年に設置され、平成26年度に3回、平成27年度に3回、計6回の委員会を開催し、ぐんま緑の県民基金事業の執行状況や効果について検証・評価を行ってきました。

□ 評価検証委員会の総括意見

平成28年〇月

ぐんま緑の県民税評価検証委員会

平成27年度ぐんま緑の県民基金事業の実施概要

財源

【収入】基金(基金残高・税込、寄附金、運用益)

1,249,000千円

(内訳) ・基金残高427,049千円 ・税込819,833千円
 ・寄附金1,844千円 ・運用益274千円

使い道

【支出】ぐんま緑の県民基金事業 714,865千円

※繰越として実施する事業 466,786千円

I 水源地域等の森林整備

460,639千円

【林政課】

(内訳) ・平成26年度繰越事業220,781千円 ・平成27年度事業239,858千円
 ※平成27年度繰越事業404,481千円

II 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進

14,966千円

【緑化推進課】

III 市町村提案型事業

236,761千円

【林政課】

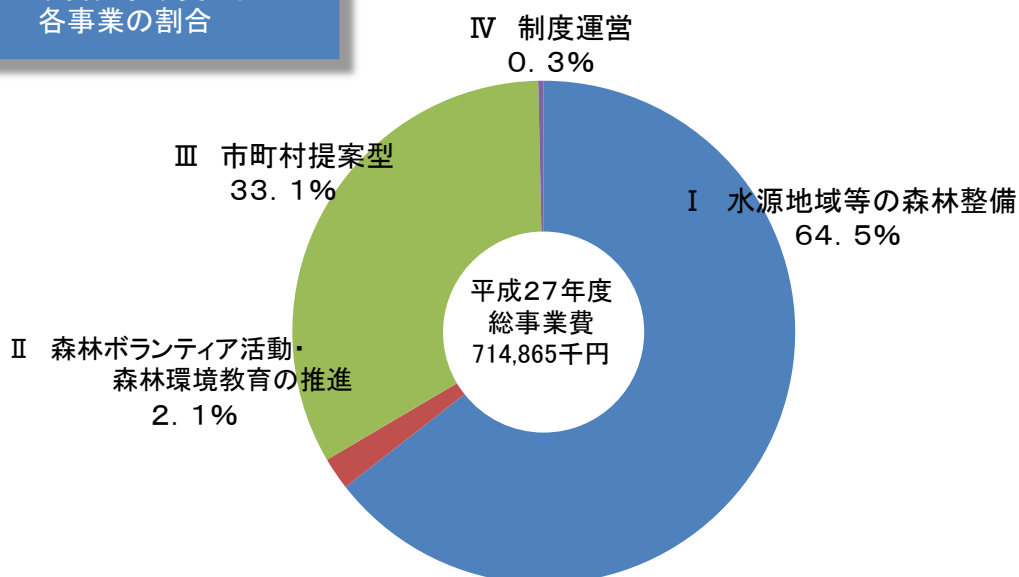
(内訳) ・平成26年度繰越事業71,237千円 ・平成27年度事業165,524千円
 ※平成27年度繰越事業62,305千円

IV 制度運営(普及啓発、評価検証)

2,499千円

【林政課・林業試験場】

平成27年度総事業費に占める各事業の割合



1 概要

● 条件不利地森林整備

地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林を対象として、間伐などの森林整備を実施します。

● 水源林機能増進

市町村が管理する簡易水道等の上流部の森林であって、水源涵養機能等の低下が懸念される森林を対象として、間伐などの森林整備を実施し、水源涵養機能の増進を図ります。

● 松くい虫被害地の再生

松くい虫被害木が放置され、笹や竹が繁茂した森林を対象として、コナラやスギなどを植栽し、新たな森林へ再生を図ります。

2 事業の流れ

① 区域調査委託

事業区域の検討や森林所有者の調査を実施し、判明した森林所有者に対して、事業説明や実施に関する承諾を得ます。



② 実施計画調査委託

森林所有者から承諾を得た森林を対象に、事業の実施区域の測量や標準地調査を実施します。



③ 森林整備の実施

調査結果を基に間伐等の森林整備を実施します。



3 整備イメージ

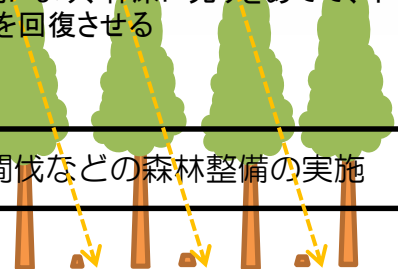
現状

- ・手入れがされず、公益的機能が低下した森林
- ・林内は暗く、下層植生が乏しい



- ・間伐の実施により、林床に光りをあてて、下草などの下層植生を回復させる

間伐などの森林整備の実施



将来

- ・下層植生が回復し、公益的機能の高い森林へ移行



4 実施状況

【平成27年度の実績】

460,639千円

(内訳) 平成26年度繰越事業220,781千円 平成27年度事業239,858千円(事務費309千円含む)

○条件不利地

森林整備

- ・区域調査
 - H26繰越: 226ha
 - H27実績: 944ha
 - (H28へ繰越: 145ha)
- ・実施計画調査
 - H26繰越: 154ha
 - H27実績: 247ha
 - (H28へ繰越: 388ha)
- ・森林整備
 - H26繰越: 276ha
 - H27実績: 128ha
 - (H28へ繰越: 347ha)

○水源林

機能増進

- ・区域調査
 - H26繰越: — ha
 - H27実績: 564ha
 - (H28へ繰越: 325ha)
- ・実施計画調査
 - H26繰越: 42ha
 - H27実績: 184ha
 - (H28へ繰越: 380ha)
- ・森林整備
 - H26繰越: 88ha
 - H27実績: 50ha
 - (H28へ繰越: 199ha)

○松くい虫

被害地の再生

- ・区域調査
 - H26繰越: — ha
 - H27実績: 56ha
 - (H28へ繰越: — ha)
- ・実施計画調査
 - H26繰越: 4ha
 - H27実績: 13ha
 - (H28へ繰越: — ha)
- ・森林整備
 - H26繰越: 12ha
 - H27実績: 9ha
 - (H28へ繰越: 22ha)

- ・平成27年度は、平成26年度の繰越事業と、平成27年度事業を実施しました。



条件不利地等の森林整備（東吾妻町）



条件不利地等の森林整備（桐生市）